

苫小牧市教育委員会会議録

会 議 区 分	苫小牧市教育委員会 第 7 回 定例委員会
日 時	令和2年6月26日 自 15時00分 至 15時53分
場 所	第2庁舎2階南会議室
出 席 委 員	教 育 長 五十嵐 充 委 員 佐藤 郁子 委 員 植木 忠夫 委 員 齋藤 智子 委 員 岡田 秀樹
欠 席 委 員	
会議録署名委員	岡田 秀樹 委員
会議録作成職員	総務企画課主事 田中 真奈
事務局職員	教 育 部 長 瀬 能 仁 教 育 部 次 長 山 地 吉 明 教 育 部 次 長 齋 藤 貴 志 教 育 部 参 事 池 田 健 人 教 育 部 参 事 桑 島 久 典 総 務 企 画 課 主 査 矢 部 妙 子 総 務 企 画 課 主 事 田 中 真 奈
会 議 案 件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1	委員会開会の宣言（五十嵐教育長）・・・15時00分
2	会議録署名委員の指名（岡田秀樹委員）
3	会議録の承認
	（五十嵐教育長） 第6回定例教育委員会（令和2年5月22日開催）の会議録について、このとおり調製することとしてよろしいでしょうか。
	（一同「はい」の声）
	-会議録どおり承認-
4	教育長の報告
	（五十嵐教育長） 6月22日、登別市の中学1年生が死亡しました。現時点では死因を含めて不明な点が多く、登別市教育委員会は、いじめ被害の有無を調べるために第三者委員会を設置することにしたと報道にありました。事実関係の詳細については、今後明らかになってくるものと思われませんが、一人の中学生が亡くなったという事実は、私ども教育関係者にとって重く受け止めなければならないことだと思っています。亡くなった生徒のご冥福をお祈りいたしたいと思います。
	次に、市内の小中学校の現状についてです。5月25日、政府の新型コロナウイルス感染症対策本部による緊急事態宣言の解除を受け、6月1日から小学校、中学校ともに学校活動を再開しています。再開前の2週間は、分散登校の回数や授業時数を徐々に増やすなど、少しずつ本来の形に近づけながら、準備を進め、再開にこぎつけ

ました。本日でちょうど4週間となりますが、順調な滑り出しではないかと思っています。改めて言うまでもないことですが、緊急事態宣言が解除されても、ウイルスが無くなるわけではありません。目に見えない感染の広がりということを常に念頭に置きながら引き続き、気を抜くことなく、「学校における新たな生活様式」に対応していかなければなりません。手洗いの励行、マスクの着用、換気、消毒、そして人との距離確保など、基本的な感染症対策を講じた上で、学校において円滑な教育活動が行われるよう取組を進めてまいります。

今後、万が一、児童生徒や教職員に感染等が確認された場合には、直ちに全市一斉の臨時休業を行うのではなく、文部科学省のガイドラインに基づき、子供たちの学びの保障も考慮しつつ、市教委として、学校ごとに臨時休業の必要性について検討し、判断していくこととなります。

また、長期休業期間については、夏季休業は8月8日から17日までの10日間、冬季休業は12月26日から1月11日までの17日間に短縮することとしましたが、修学旅行等の学校行事については、北海道教育委員会からの通知等を踏まえるとともに、小中学校校長会とも十分協議の上、7月初めには保護者へ通知する予定です。

6月4日、定例校長会議が5月に続いてオンライン方式で行われました。会議では、先ほど申し上げた長期休業期間の短縮や、再開後の学校運営の留意事項などについて確認をするとともに、昨年比べて4月、5月と報告件数が増えている教員の交通事故違反について改めて指導、徹底をお願いしたところです。

第7回市議会定例会が6月11日から19日まで開催されました。教育関連では、補正予算で5人、一般質問で10人の併せて15人の議員が質疑を行いました。今議会の質問項目の多くが新型コロナウイルス対策関連であった中、小学校の社会科資料集について取り上げた議員がいました。資料集の使用については、私も初めて知ったことではありますが、このことに限らず、これまで当たり前のように継続されてきたこ

とについて、改めて検証してみることは、結果として続けることになったにしても見直すことになったにしても、意義のあることだと思っております。

先の国会で第2次補正予算が可決され、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が2兆円増額され、学習ICT環境整備や学校活動再開の支援などが盛り込まれました。本市への配分額も増えることが予想されますので、学校再開後の「学校の新しい生活様式」を踏まえた事業について、学校現場の意見、要望に沿った対応を考えてまいります。

6月22日、苫小牧市交通遺児育英会に対して、栗林海陸輸送株式会社から同社の創業60周年にちなんで60万円という多額の寄附をいただき、理事長の岩倉市長から栗林社長に対して感謝状を贈っております。なお、今年度から育英会の基金を原資とした交通安全対策事業を開始したところですが、6月時点で各学校PTAなど18団体から申請があり、交通安全の看板設置や用品購入に有効活用されておりますことを報告いたします。

報告は以上ですが、何かご質問等ございませんか。

(一同「なし」の声)

5 議 案

第1号 苫小牧市学校給食共同調理場運営審議会委員の委嘱について

第2号 教育委員会職員の処分について（報告）

(五十嵐教育長) 議案第1号から議案第2号につきましては人事案件でございますので、教育委員会会議規則第21条の規定により秘密会とし、この場合、会議の日程の最後に審議を行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

第3号 令和2年度教育費補正予算について

(五十嵐教育長) 議案第3号につきましては、市議会にて審議される案件で、招集告示前に公開することは適切でないと考えられますことから、教育委員会会議規則第21条の規定により秘密会とし、この場合、会議の日程の最後に審議したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(五十嵐教育長) それでは、議案第1号から議案第3号を秘密会とし、日程の最後に審議を行うことに決定いたします。

6 報告・協議

報告(1) 苫小牧市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について

(教育部長) -苫小牧市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について説明-

(五十嵐教育長) 質疑に付します。何かございませんか。

(一同「なし」の声)

(五十嵐教育長) ないようであれば、質疑を終結することとしてよろしいでしょうか。
(一同「はい」の声)
報告(2) 新型コロナウイルス感染症対策について
(教育部長) -新型コロナウイルス感染症対策について説明-
(五十嵐教育長) 質疑に付します。何かございませんか。
(一同「なし」の声)
(五十嵐教育長) ないようであれば、質疑を終結することとしてよろしいでしょうか。
(一同「はい」の声)
協議(1) 教育委員会点検・評価の見直しについて
(教育部次長) -教育委員会点検・評価の見直しについて説明-
(五十嵐教育長) 質疑に付します。何かございませんか。
資料2については、ご意見等の記載欄の枠内に書いているものは、記載例として示しているとのことよろしいですか。
(教育部次長) そうです。

<p>(五十嵐教育長) そのようにご理解をいただければと思います。</p>
<p>いかがでしょうか、資料3のような形にしてこれまでは各事業の評価について自己評価があり、最終的に外部の学識経験者から意見をもらっていたというものを、今回、教育委員会の会議や活動等の項目について、事務局の評価、委員の自己評価を入れて、外部の学識経験者の評価をいただくということですがけれども、細かいところ、あるいは大きな考え方、そもそも要らないのではないかとか、方向性は良いのではないかとか、その辺いかがでしょうか。ざっくばらんなご意見を聞かせていただければと思います。植木委員、いかがでしょうか。</p>
<p>(植木委員) 型どおりこの評価があってもおかしくはないですが、資料3の1の①、「方針の決定や執行にあたって公正公平性・継続安定性は確保できたか」ということで、例えば、評価がBとかAとかになるとと思いますが、定例教育委員会に当たって、教育委員が資料の作成を、協議の中で全部参加しているわけではないので、こういう形とするならば、なかなか教育委員として、できたとかできないとは言いにくく、難しいと思います。②も同じで、「議案の決定は、十分な時間や資料等を確保しスムーズに審議することができたか」についても、苫小牧市教育委員会としては、活発に行っているとは思いますがけれども、事務局の方から、市議会議員の質問等やあるいは回答等の資料を提供していただいて、市民の思いを知ることはできますが、我々が直接、市民の方や町内会の人たちがどういう思いで教育を眺めているのかということ、実はあまりよくわかっていません。そういう現実もありますので、協議の仕方をもう少し工夫しないと、単にできましたとか、よくできましたとは簡単には言えないのではないのかなと思っています。</p>
<p>(五十嵐教育長) どうでしょうか。</p>
<p>(教育部次長) 確かに初めて作成したものなので、項目自体が適切なのか、評価がしやすいのか、しにくいのかというのがあります。記載した項目については当然やるべきことであって、不十分であってはいけないと思っはいるところでもあります。ただ、事務局の考えと教育委員それぞれの考えと少し違うところもあると思いますし、</p>

こういった率直な意見を聞かせていただく中で、我々としても取り入れて改善していくということが必要だと考えていますので、項目や最終的に出来上がった形について、またいろいろと今までどおりご意見をいただくことで、修正していくことになるかと思っております。まずは、皆様がこういったことを思っているのかを知りたいというのもありますので、もちろん随時、ご指摘いただいてその都度、改善している部分も多くありますけれども、そのような部分も含めて、市民の方にも知ってもらうのも大切だと思っておりますので、是非、ご理解いただければなと思っております。

(五十嵐教育長) 今回、初めての提案ということなので、教育委員の皆さんから率直な意見をお聞きしたいと思いますが、佐藤委員いかがですか。

(佐藤委員) 資料3のような形は、今後変わっていくだろうとももちろん思いますが、外部委員の方に点検評価をしていただくための資料をどう作るのかがまず大事だと思います。その内容によって、点検評価の判断が変わっていきますので、その内容が、具体的な数値だとか数字ですとか、植木委員がおっしゃったように例えば議員からこういうことがあったとか、そういう具体的なことが分かれば点検評価の時の判断材料としては必要なものだと思います。是非、定例教育委員会の模様だとか会議の内容ではなくて、それについての具体的な資料があった方がよく点検評価をしていただけるのではないかと思います。そのあとに、書き方としてはいろいろあると思いますが、例えば資料3の①であれば①の総括をし、内容を読んで好意的な判断だとか良い評価である等の課題というあいまいな書き方ではなく、どこが良いのか改善点がどこなのかをはっきりし、わかりやすく書いた方が、自己点検を受ける側も評価をする側も、しやすいのではないかなと今回、拝見して思ったことです。

(五十嵐教育長) ありがとうございます。

(教育部次長) ご意見のとおり、資料3に課題と記載していますが、課題及び改善点と記載したいイメージがあります。できれば数字の比較ですとか、他の事業と同じで、数字で評価できるようなところがあればいいですが、なかなか活動状況を数字で示すのは難しいですが、ただ今までのように一覧だけを見せて評価してもらうよりは、

例えば、会議の回数が何回だったとか経年で比較できるような資料をつけながらできたらいいのかなと思っております。

(佐藤委員) 今、おっしゃったとおりだと思うのですが、最近の流れとして数値化、数字を求められるのですが、数字にできないものが随分、世の中にはありますので基準のような大きな枠組みを作っておいて、それから、評価の区分の中に入って行ってそれを評価するというような方が、評価をする方も資料を作る方もやりやすいのではないかなと思います。あまり数値・数字に固執すると動きが取れなくなりますので、基準のような設け方をした方が、内容にもよりますけれども点検評価をしていただきやすいのではないかと、委員の側からすると思います。そのあたりの評価項目を作っていたらと私も、振り返りができると思いますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

(植木委員) 一点、いいですか。先ほどの追加ですが、資料2の「よくできた・できた・不十分」は、小学生の通知表みたいな気がします。確かにこれも良いですが、例えば、総合教育会議では、今年度は何回で、この会議ではこういう項目について議論をただとか、定例教育委員会ではこういう点について協議をただとかを具体的にここに載せた方が、よくやっているだとかこれは足りないだとか、もっと教育委員会で揉まなきゃいけないというような、ご意見が出てくるような気がしますのでその点を工夫していただければ、かなり良くなるのではないかなと思います。

(教育部次長) 今回の提案をさせていただくにあたり、他市の事例等も参考にしておりますが、今まで、我々がやっていたようなただ一覧を載せるというよりは、少し整理したもので見せているものも多いですし、そもそも始めの目次に戻りますが、「教育委員会の活動成果の点検評価」と他市ではきちんと書いています。そういうものだというおさえを我々は、今までしていなかったと思ひていますし、今までつけていた活動の一覧等は後ろに参考資料とすればいいかなと思ひていまして、先ほど、植木委員がおっしゃっていたように、整理をしてこういうことができましたというのを載せていければ外部評価の方に見やすく、市民にも伝わりやすいかなと思ひておりま

す。
(五十嵐教育長) 岡田委員、いかがでしょうか。
(岡田委員) 教育委員会点検・評価は市民の方にはホームページで公開されるのですよね。
(教育部次長) そうです。
(岡田委員) 教育委員会の活動が、どういうことを行っているのかを市民に分かるように、私たちがどういう風に評価して市民の方がその評価に対してどのように思うのかをキャッチボールのような形で、教育委員会の審議が活発になれば良いと思います。内容については、始めはいろいろあると思いますが、そういう趣旨からすればこういう風に私たちが評価して、市民の皆さんからご意見を伺うということも、良いのではないかと私は思います。
(五十嵐教育長) ありがとうございます。齋藤委員いかがですか。
(齋藤委員) 皆さんと重なる部分もたくさんあるのですが、教育委員会で何を行われているのかについては私たちの話した議事録が、ホームページに掲載はされていますが、なかなか一般市民の方が、それを一から読む機会は現実的に難しいと思います。ぱっと見て、特に保護者の方々は私たちの子供を預けている学校教育というのがどのように運営されているのかを知る機会、また教育に対して関心を持つきっかけになるのかなという点では、学校教育だけではなく生涯学習等も含めて良いのかなと思います。また、先ほど植木委員がおっしゃられていた「よくできた・できた・不十分」という書き方ですが、やはり小学校の通知表のようというのもそのとおりだなと思います。評価する立場の人たちが、評価をしやすい、実際に教育委員会がどのように運営されているのかが一番わかりやすく、上辺だけではなく中身を知ってほしいと思うので、自己満足で私たちがよくできたと思って全部評価をしてしまうと、評価をする方たちもよくできたと言っているのならよくできているなという評価になってしまうのではないかと思います。もちろん、3つの選択肢があつてというのも良いのですが、植木委員がおっしゃったように、具体的にこの会議ではどういう中身の話をしている

のか、結果、どういう意見が出てそれを現場に持ち帰って意見が反映されていったのかというような、そういった具体的なことまで記載されるような評価する人たちにあって良い資料があればいいなと思います。

(五十嵐教育長) ありがとうございます。委員皆さんからご意見をいただきましたけれども、今回、協議の第1号の方向性としては、こういう形の評価、教育委員会の活動状況についての評価をしていく、項目を立てて行っていくということについては、委員の皆様、賛同いただけているのかなと思います。ただ、実際の具体的な評価の項目、評価の仕方、ABCの3つが良いのかどうか、こういうところがもっと不十分だったとかもっと具体的な事項を挙げるということについても、ご意見がありましたので、中の文言ですとか、項目の部分はさらに協議をする中で、委員さんにもご意見をいただいた中で、方向性としてはこういった評価で進めていくことで、この協議はまとめたいと思いますがよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(五十嵐教育長) それでは、協議第1号「教育委員会点検・評価の見直しについて」の質疑を終結いたします。

これより、先ほど秘密会と決定しました議案第1号から議案第3号について審議をいたします。関係者以外は退席をお願いいたします。

(五十嵐教育長) それでは、委員会を再開いたします。なお、議案第1号から議案第3号につきましては原案どおり決定しましたことを申し添えます。

7 その他

(五十嵐教育長) 次に、その他でございますが、事務局、委員の皆様を含めて、何かございますか。

(一同「なし」の声)

8 委員会閉会の宣言 (五十嵐教育長)・・・15時53分